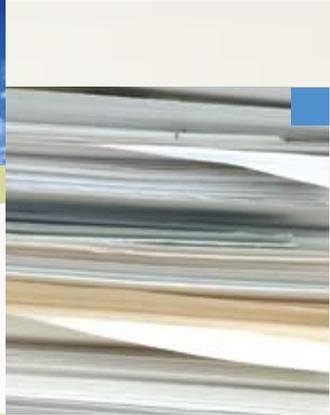
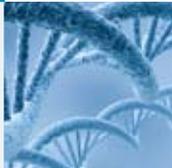


サステナビリティレポート 2009



# Waters

THE SCIENCE OF WHAT'S POSSIBLE.™



革新への取り組み：製品と環境 .....	5
株主様への取り組み：コーポレートガバナンス .....	8
環境と従業員への取り組み：EH&S プログラム .....	11
責任ある製造への取り組み：サプライチェーン管理 .....	19
従業員と地域への取り組み：社会的責任 .....	20

皆さまへ

今日、生態学的、または生物学的な持続可能性を語るとき、科学的な探求が欠かせません。今後、どのように「持続可能性」が定義されるにせよ、企業活動や人口変動のもたらす環境や人間の健康への影響が、実験室で測定される事実には変わりはありません。そこでウォーターズのミッションは、科学者たちに実験用分析ツールを提供することにより、それらの影響のおよぶ範囲を科学的に解明していただき、現実に見合った判断を下すよう手助けることです。

ウォーターズは、世界各地の大学機関や製薬会社の研究者たちと連携することで、疾病に対する治療法を発見し、救命医薬品をより短い期間で開発し、そして、よりリーズナブルな価格で提供できるよう努めています。また、環境や食の安全を専門に研究する実験室と共同で汚染を検知する新方法を開発し、安全な食品と水の供給の確保に取り組んでいます。

私たちは、株主の皆さまを始めとし、地域社会や従業員に対する責務を認識すると共に、ウォーターズが継続的な成長を実現できるよう努力して参る所存です。今日までに包括的なポリシーやプログラムを確立することにより、コーポレートガバナンスや環境・健康・安全管理、そしてサプライチェーンマネージメントを向上させ、高いレベルのパフォーマンスを維持して参りました。企業のサステナビリティ（持続可能性）戦略の中で、私たちが特に重視するのは、企業の原動力とも言うべく従業員に対する責任を果たして行くことだと考えています。



当社初の「サステナビリティレポート」をご覧いただければ、実験科学への貢献を通じて、どのようにしてウォーターズが持続可能性を巡る議論の中心を担うようになったかがお分かりいただけると思います。50年に及ぶウォーターズの歴史の中で、環境や人々の福利、そして科学それ自体への発展につながる革新的な研究に貢献できたことを社員一同大変嬉しく思います。

皆さまのこれまでのご支援に感謝しつつ、これからもご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

*Douglas Berthiaume*

ダグラス・バーシオーム

代表取締役兼 CEO

**お客様の成功こそが  
私たちの使命**

ウ

ウォーターズは、世界中のヘルスケア、環境保護、食の安全、水質管理分野の発展に貢献しています。未来につながる実用的な科学革新を提供しつづけることによって、研究開発に携わる企業や専門機関の成功に寄与します。

ウォーターズは豊かな経験を生かし、研究に携わるお客様の需要を深く理解する姿勢を守ります。お客様の飛躍的な発見、研究業務の最適化、高水準の製品開発および、法令遵守の実現に尽力します。

分離・分析科学、ラボの情報管理、質量分析のパイオニアとして、ウォーターズはお客様の揺るぎない成功のために、革新的な技術とラボ向けソリューションを提供します。

世界人口の増加による資源の枯渇が懸念される今日、より良い未来につながる発見に世界中の期待が寄せられています。1958年の創業以来、ウォーターズは業界でも最先端のテクノロジーとグローバルネットワーク、そして実験科学に一層役に立ちたいという情熱のもと、科学の発展に貢献し続けています。

疾病の治療法、汚染を検出して食品および水資源の安全を確保する新技術を発見するための分析ツールを開発することにより、ウォーターズは科学のあらゆる分野において、人々の健康、環境、および未来をより良いものにするための生産性向上に寄与してきました。

### 液体クロマトグラフィ

液体クロマトグラフィは、水中に溶解するあらゆる化合物を分離、定性および定量分析する生化学や分析化学分野で使われている実験手法の一つです。1970年代、新しい装置の開発や化学研究の発展をテコに高压液体クロマトグラフィ (HPLC) が登場しました。これをきっかけに、質量分析は新たな境地に入りました。現在では、約 20 万台の HPLC が世界中で使われています。

2004年にウォーターズが発表した ACQUITY Ultra Performance Liquid Chromatography® (UPLC®) は、「環境に優しい」実験システムの標準になるほど、液体クロマトグラフィ装置に革命を起こしました。多くの専門家たちは、UPLC® を使用すれば、担体溶媒の量を削減しつつ、従来の HPLC と同等、あるいはそれ以上の結果が得られることを論文に評しています。さらに、分析が速く、サンプル処理の効率も高い ACQUITY UPLC® は、エネルギー消費の削減にも役立ちます。また、使用する化学物質が少ないことから、環境に配慮する研究室の大きな悩みである廃液処理の負担を減らすことも可能にしました。環境への優しさにおいて、ACQUITY UPLC® を超える液体クロマトグラフィシステムは存在しません。

### ライフサイエンス、食の安全、環境

ウォーターズはライフサイエンス、食の安全、工業化学製品、環境管理および水質管理などの分野において常に革新を目指し、お客様やパートナーと共に新たな取り組みを続けています。ここでは、ウォーターズが世界に貢献している一部の例をご紹介します。

### ライフサイエンス

新薬を上市し、その品質を守り続けるため、製薬会社や規制機関はさまざまな要素の調整を必要とします。ウォーターズは世界中の各機関とパートナーシップを結び、科学研究とオペレーションのニーズに応える技術とサービスを提供しています。さらに、疾病の研究から品質管理まで、ウォーターズは創薬の各段階に求められる技術力を持ち、製薬会社や規制機関と協力して、確かな目標の達成を目指します。



パフォーマンス向上を目的に ACQUITY UPLC® を導入したユーザーの多くが、有機溶媒の使用量が最大で 95% も削減されたことに驚いています。

この削減量による環境への潜在的貢献度は非常に大きく、設置済みの HPLC システムの約 20 万基を UPLC® に移行したと仮定すると、タンカー数千隻分の溶媒およびそれに伴う廃棄物が削減できる試算になります。UPLC® が導入されるたびに、この目標へ一歩前進することになります。

## 食品

昨今、世界市場において、食の安全と品質は消費者・政府・生産者にとって無視できない課題です。食品に関する規制が強化され、食品汚染問題が注目されるにつれ、検査機関の果たす役割がさらに重要となっています。ウォーターズは、包括的な食品検査システムを数十年にわたり開発してきました。それは、微量な化学化合物を見逃すことなく検出し、コンプライアンス条件を満たし、そしてなによりも大切な「人」の安全を守るために、技術革新を重ねて来た成果そのものです。

## 環境

人間の体内に摂取される物質とその安全性について知ることと同様に、人を取り巻く環境の中に存在する物質を把握することが重要だと、ウォーターズは考えています。ウォーターズの科学者たちは、お客様や専門機関と連携することによって、環境分析分野の最先端の研究を続けてきました。農薬、除草剤、ペルフルオロ化合物、ダイオキシン、環境ホルモンなど、多くの環境汚染物質を分析できる総合的な分析法を開発し、より正確かつスピーディな検知で人々の健康をサポートしています。

## パートナーシップ

当社の創業者であるジム・ウォーターズの時代から、私たちはパートナーと協力し、時に科学者と連携し、研究を続けてきました。そこで培われた強い信頼関係は今日も健在です。

## 環境と食の安全への貢献

ウォーターズは、世界中の政府機関や業界に協力して、環境・食の安全問題に取り組んでいます。例えば近年、急成長を遂げるインドで、ウォーターズは環境保護の分野で重要な役割を果たしました。製品や製造工程の標準化、特定分野での環境影響に関する表示義務の徹底、環境監査システムの導入を実現させたことによって、昨今のインド製品は国際競争力を強化しつつあります。海産・農産物の輸出促進開発局など主要な研究所の多くと強固なパートナーシップを結び、インド固有の課題解決に向けて、ウォーターズは今後も積極的に取り組んでいきます。



環境や食の安全は、現代において世界共通の最も重要なテーマです。こうした課題に取り組む世界中の政府機関や企業にとって、ハイレベルな科学知識と、成分等を正確に計測する食品検査システムは必要不可欠と言えます。ウォーターズは、独自のサービスによって食品安全プログラムを客観的に評価し、食の安全を支える世界中の機関や企業を全面的にサポートしています

その一つの例として、2008年、ウォーターズはワシントンDCにある Woodrow Wilson Center と共に「種を蒔く：食の安全を守るための米中が連携する契機」(原題 *Sowing the Seeds: Opportunities for US-China Cooperation on Food Safety*) を英語と中国語で発刊し、国境を越えたグローバルな視点での食の安全と米中の協力について提案しました。

同様に、ウォーターズは食の安全や環境に対する厳しい国際標準への対応を急いでいる中国政府と協力して、当局が現在抱えている問題に対処しうる高度なアプリケーションやソリューションの開発に携っています。たとえば、ウォーターズは食品安全分析と環境規制準拠のためのテクノロジーとノウハウを「中国疾病予防管理センター」(China Municipal Center for Disease Prevention and Control)、「北京疾病予防管理センター」(Beijing Municipal Center for Disease Prevention and Control)、および「中国環境科学研究学会」(The Research Center for Eco-Environmental Sciences of the Chinese Academy of Sciences) に提供しています。

### アメリカ EPA とのパートナーシップ

国内の水資源を故意の汚染から守ることは、アメリカの「国土安全保障省」(Department of Homeland Security) にとって重要な課題です。政府のニーズに応えるべく、ウォーターズはアメリカの「環境保護庁」(Environmental Protection Agency =以下 EPA) と共に、EPA が問題物質として挙げた 280 種の化学物質の包括的なライブラリを開発しました。このライブラリには、農薬 (殺虫剤、大型昆虫用殺虫剤、除草剤)、薬剤残留物、違法ドラッグおよび化学兵器に利用される物質が含まれています。このプロジェクトにおけるウォーターズの役割は、これらの有害物質が飲料水に含まれていないかを短時間で検出できるツールを提供することです。

さらに、アメリカ EPA とウォーターズは共同で、ペルフルオロ化合物 (以下 PFC) の標準検出方法を開発しました。PFC は、毒性、難分解性を持ち、生体内に蓄積する合成化学物質です。PFC は紙製品などの包装業界、繊維製品・室内装飾製品の製造業で用いられ、地中、飲料水、母乳、および動物の細胞への影響が世界で確認されています。研究はまだ途上ですが、PFC は肝臓障害や重度の発達障害あるいは生殖障害の原因物質と考えられ、生体内に長期間残留することが判明しつつあります。アメリカ EPA とウォーターズの共同プロジェクトは、PFC の人体へのリスクを解決する手段を科学者達に提供するものと期待されています。



世界中で 1,000 種類を超える農薬が使用されていますが、この中には複数の残留物が存在します。残留量が微量であること、その種類の多さ、化学的分類の多様性などから特に難しい分析対象です。

農薬の使用が増え続ける一方、農業における農薬の安全対策は不足しています。また、農薬の違法使用などから、食品に含まれる農薬および代謝残留物による健康被害のリスクも高まっています。

2008 年にウォーターズは、十分間の実験を行うだけで、食品サンプル中から 402 種類の農薬を一度に検出できる方法を開発し、発表しました。これはウォーターズがお客様と協力して、世界中で懸念されている環境・食の安全の問題解決に協力したほんの一例です。

ウォーターズは、ファイナンシャルガバナンスとコーポレートガバナンスを非常に重視しています。企業コンプライアンスのための包括的な社内フレームワークを、第三者機関によるレビューおよび監査によって強化しています。

### 透明性の高い財務管理

ウォーターズは財務活動の統制にあたって、連邦証券法および関連する会計基準に準拠した形で、会計に関するさまざまな情報を株主および従業員に公開しています。四半期ごとおよび決算期に、ウォーターズは「証券取引委員会」(Securities and Exchange Commission)に報告書を提出し、当該期間に記録された正確な会計情報をすべて公開しています。この会計情報には、数字によるデータを補うための脚注、添付書類、および説明書が付随します。

四半期ごとに収益レポートを一般公開し、その結果をもとに経営者層と株主の間で自由な話し合いを行うための電話会議を開催します。さらに、ウォーターズでは年に数回財務会議を開き、ここで製品やサービス、財務状態を見直します。これらの会議で投資家たちは、ウォーターズの事業運営に関し経営者層に自由に質問ができます。

2002年のSOX法(サーベンス・オクスリー法)404条の可決以来、ウォーターズは新法案が要求する内部統制を実施するための幅広い取り組みを続けています。社内プロセスや手順に関する国内および国際的な監査および内部監査を担当するのはウォーターズの監査およびリスクマネジメント統括責任者とそのチームです。彼らは404条に準拠するにあたり、ウォーターズの外部監査役プライスウォーターハウスおよびアーンスト・アンド・ヤングの協力を得て、規制準拠に向けて活動しています。

ウォーターズの内部統制および作業手順は、特に、会計、内部的な会計管理、および監査に適用される法や規制に違反することを防止するために制定されました。万が一違反した場合にはその改善措置を即ちに施します。

ウォーターズは、①会計、内部的な会計管理、および監査に関してウォーターズに寄せられたクレームの受け入れ、記録、および取り扱い、②疑わしい会計または監査内容について、匿名の個人から寄せられた信憑性の高い機密情報の取り扱い、という二点についての対処方法にもポリシーを定めています。



「2002年にSOX法が施行されてから毎年、ウォーターズ会計監査委員会は、弊社の財務報告書に企業内部統制上の問題がないことを、監査法人であるプライスウォーターハウスから報告を受けています」

*John Ornell*

ウォーターズ 最高財務責任者

## 「ベスト・イン・クラス」のガバナンス

ウォーターズのコーポレートガバナンス（企業統治）のレベルが高いことを示す例が、独立した株主監督機関であるリスクメトリックス・グループが算定・発表する「企業統治指数」（Corporate Governance Quotient）です。「ベスト・イン・クラス」、つまりクラス最高峰のコーポレートガバナンスイニシアティブの採用により、多くの優れた企業が激しい競争を繰り返すこの業界で、ウォーターズは五年以上の間、業界最高の企業統治指数を獲得しています。

ガバナンスを牽引するのはウォーターズの役員会です。役員会は前職および現職の CEO と CFO、ならびに監査委員会のメンバーで構成されています。役員会会長は現 CEO が兼任します。役員会のメンバーおよび委員会は、ウォーターズが設定した独立基準、およびニューヨーク証券取引所の独立基準を満たしており、この独立性から経営陣問題を取り上げ、客観的に議論できる場が生まれています。ウォーターズの統括責任者、相談役および法務責任者（コーポレート・セクレタリー）は、外部機関とも協力して、役員会、および委員会に最新のコーポレートガバナンス問題についての情報を定期的に提供し、適切なアドバイスを行います。

ウォーターズの役員会は、監査委員会、役員報酬・育成委員会（Compensation and Management Development Committee）、指名および企業統治委員会で構成されています。各委員会にはそれぞれの行動を規定する憲章があり、憲章は [www.waters.com/governance](http://www.waters.com/governance) で公開されています。

監査委員会は、ウォーターズ 財務諸表の統合性、独立監査役の資質、内部統治、適用法および規制条件への準拠、ならびに内部監査スタッフの能力を監視しています。監査委員会はウォーターズが有するすべての記録、施設、従業員にアクセスし、委員会に報告されるあらゆる問題を調査できる幅広い権限が与えられています。この責務を果たすため、委員会の内部で活発に情報や意見を交換し、またプライスウォーターハウスクーパーズ社、監査およびリスクマネジメント統括責任者ならびに経営陣とも自由に情報と意見の交換を行っています。

役員報酬・育成委員会は、委員会の憲章に則り、CEO を含む重役への給与を承認し、給与レベルの設定基準、および報奨金プログラムを役員会に提案します。委員会は通常独立した報酬コンサルタントを利用します。コンサルタントは業界内の重役職の給与レベルについて調査し、その競合分析をもとに、委員会に対してコンサルテーションを実施します。さらに委員会は、人事統括責任者は委員会に協力し、企業に必要な雇用や給与業務のための情報およびアドバイスを提供しています。



「ベスト・イン・クラス」のコーポレートガバナンスイニシアティブの採用により、多くの優れた企業が激しい競争を繰り返すこの業界で、ウォーターズは業界最高の企業統治指数（Corporate Governance Quotient）を獲得しています。

CEO など上級役員の報酬を算定する以外に、委員会は役員報酬を年に一度見直し、報酬の支払い形式とその金額を役員会に提案、承認を求めます。

報酬の見直し以外にも、この役員報酬・育成委員会は役員会および経営陣に、CEO などの将来的な役員候補の選別と評価をサポートします。さらに委員会は経営陣と共に、組織や採用に関する問題、非正規雇用契約、雇用契約の解除などの規定変更についても適時に検討します。



従業員が倫理的、道徳的、および法的な原則を遵守しながらプロフェッショナルな行為を心掛けるよう指導するため、ウォーターズは「業務上の行為および倫理に関する規定」を採用しています。

指名および「企業統治委員会」(Nominating and Corporate Governance Committee) は、役員会メンバー候補の選別と採用を行うと共に、メンバーと役員会の筆頭取締役候補を指名することもでき、指名の責務に加え、委員会は企業のコーポレートガバナンスガイドラインと業務上の行為および倫理に関する規定の内容、役員会のパフォーマンスへの評価プロセスを作成して役員会に提案しています。また、委員会はコーポレートガバナンス分野に関する最新情報を、統括責任者、相談役、外部機関から定期的に受けています。

### 業務上の行為および倫理に関する規定

コーポレートガバナンスガイドラインに準拠する上で、倫理的、道徳的、および法的な原則に従業員による職務上の行為のすべての側面に浸透させるために、ウォーターズは「業務上の行為および倫理に関する規定」(以下「規定」)を採用しています。これらの規定では、さまざまな問題の中でも特に、利害の対立、インサイダー取引、給与と公正な扱い、差別とハラスメント、従業員の健康と安全、記録管理、ウォーターズ資産の保護と適切な使用について言及しています。

ウォーターズは規定の重要性と価値を強く認識し、これらの倫理規定について学ぶオンライントレーニングと、これらの規定が準拠されなかった状況を想定した調査と分析についての指導を実施しています。これらのプログラムを通じて、従業員の倫理規定および企業ガバナンスの重要性についての理解を深め、海外汚職防止法など最新の問題に関するトレーニングコースを実施することによって、コーポレートガバナンスを推進しています。

ウォーターズは、自社の事業を通じて、世界中の人々の健康と安全を守るための環境改善に直接的に寄与していると考えています。安全かつ健全な職場作りや環境保護など、社内外において企業の社会的責任を意識した活動に取り組んできました。

ウォーターズはまた、世界的な規制準拠、エネルギー効率および資源保護の分野において新たに生まれた課題を解決するために、過去数年にわたり、「環境・健康・安全管理」(Environmental Health and Safety =以下 EH&S) 制度に新しいプログラムを導入するなど、積極的な改善を重ねてきました。

### 環境・健康・安全管理 (Environmental Health & Safety) プログラム

ウォーターズの「EH&S 操作委員会」(Corporate EH&S Steering Committee) が実行する EH&S 運営手順は、このプログラムの枠組みであり、プログラムのパフォーマンスと成長を促す使命、体制、役割、そして責務を決定しています。

本社の EH&S グループが活動の中心となり、方向指示、運営、コミュニケーション、ならびに社内の連携といった機能を果たしています。ウォーターズの各拠点には EH&S コーディネーターが置かれ、新たなメンバーが加わる都度、私たちは EH&S プログラムのさらなる向上と推進に取り組めます。

ウォーターズは、環境に関する安全と健康へのリスクを評価およびコントロールし、汚染を最小限に止め、確実に規制に準拠するために、数多くのポリシーと手順を策定しました。世界中のウォーターズの拠点では、自社の監査制度によって確実な規制準拠が実施され、手順などの改善が常時行われています。すべてのポリシーや手順は、その他の EH&S に関連する情報およびガイダンスと共に、従業員に公開されています。

EH&S に関する個人における責任は、特に管理職に対して強調されています。すべての管理職は業務を遂行するにあたり、該当する EH&S ポリシーおよび手順を守らなければなりません。EH&S トレーニングへの参加と、必要な手順に従って従業員自身、自社およびお客様の施設内の環境を守るための適切な予防措置を取ることが求められます。

EH&S 操作委員会は、部署ごとに設置されたその他の安全委員会と共に、活動を改善するため、定期的にミーティングを開催しています。従業員の年度業績評価では、EH&S に関する実績も評価の対象となります。

## EH&S プログラム



ウォーターズは安全かつ健全な職場を従業員に提供できるよう心掛けています。さらに、責任を持って環境保全のための活動も行っています。ウォーターズが拠点を置く各地域で、優れた雇用主かつ良き隣人であると認められるよう、私たちは絶え間なく努力しています。

ウォーターズは、約束します。

- あらゆる活動や業務は、環境への配慮ならびに従業員の安全を最優先した上で行います。
- 環境維持および安全管理の手順を、企業運営および日々の活動に取り入れます。
- 経営陣が責任をもって、無災害に近い職場創りに尽力します。そして、すべての社員が積極的に参加、貢献できる職場に築き上げます。
- すべてのEH&S規定を満たす、もしくは上回るよう努力します。

EH&S プログラムは、以下の内容で構成されています。

- リスク評価および準拠監査のための備えなど、明確に定義された責務、ポリシー、および手順
- 環境負荷を減らすための、以下の包括的なプログラム
  - エネルギー効率を上げ、電気と暖房、換気および空調設備構築によるコストダウンのためのエネルギー管理プログラム
  - 多種多様な材料の節約、再利用および再生プログラム
  - 製品、工程、施設周辺で有害物質の使用を削減するプログラム
- 非常事態対策、労働衛生に関するリスク評価、職場の安全、および職場での事故や怪我の管理手順、従業員の積極的な参加やフィードバックを促す、健康と安全に関する職業プログラム

各プログラムの詳細は以下のとおりです。

### リスク評価および準拠監査

ウォーターズの EH&S 管理システムは、本社と拠点ごとに特化したポリシーと手順を定めています。こうしたことにより、健康安全関連法や規制に対する準拠が、どの地域でも確実に遵守されます。2005 年から 2007 年にかけて、ウォーターズは外部および内部監査役による 11 回の企業監査を実施し、世界中でのウォーターズの業務行動をレビュー、評価し、そして改善しました。すべての製造拠点が監査の対象となり、全調査結果のうち 85% に対して改善措置がとられました。そして改善措置が完了していない拠点は、今でもその対応を継続しています。

監査による調査結果				
拠点名	調査結果 合計	調査結果 非公開	調査結果 公開	完成度 %
Dättwil, Switzerland (2007)	7	1	6	14%
EHQ France (2007)	24	23	1	96%
EMRC France (2007)	24	18	6	75%
Etten-Leur, European Distribution Ctr., The Netherlands (2006)	9	8	1	88%
Etten-Leur, Sales, The Netherlands (2006)	9	1	8	10%
Milford, MA, USA (2005)	11	11	0	100%
Parsippany, NJ, USA (2007)	4	4	0	100%
TAI, Delaware, USA (2006)	22	20	2	91%
Taunton, MA, USA (2006)	15	14	1	93%
Vicam, Watertown, MA, USA (2007)	9	8	1	93%
Wexford, Ireland (2005)	24	24	0	100%
Total	158	132	26	85%

保険会社である FM グローバル社の協力により、ウォーターズの設備および事業運営に関する評価ならびにリスクの特定が行われ、さらに損失防止のための措置が実施されました。2005 年から 2007 年まで、FM グローバル社は評価とフォローアップのため、30 回もウォーターズに訪れました。

## 規制準拠

ウォーターズは規制厳守を最重視し、規制の不備が見受けられる都度、監査を入れます。施設に対する監査制度に加え、特定の規制準拠活動を対象とした監査および検査を実施しています。これらの措置は EH&S、または EH&S のガイダンスに基づいて、個別の部署によって実施されています。

## 従業員の健康と安全

ウォーターズにとって従業員は最も大切な資源です。ウォーターズの EH&S プログラムもまた、すべての従業員が安心して積極的に参加・貢献できるような職場を形成し、維持するための取り組みです。部署や拠点ごとにも安全委員会が設置され、定期的に集まって問題点を協議、検査を実施し、職場での事故については事後調査を行います。さらに、健康と安全管理のためのトレーニングも実施しています。

具体的な例を挙げると、ウォーターズは定期的なリスク評価を行い、有害物質の従業員への影響なども調査しています。ウォーターズの主な施設で実施されている産業衛生モニタリング結果によれば、対象となるあらゆる種類の数値は規制レベルを大幅に下まわっていました。危険物質を扱う職場で働く従業員には防護装備が与えられ、これらの職場では取扱う危険物質に対するリスク評価も行われています。リスク評価の対象となった従業員には、EH&S プログラムに必要なスキルと業務のためのトレーニングが実施されています。

職場での怪我などは EH&S によって事後調査が行なわれ、必要と判断された場合には適切な対応が取られます。多くの拠点において、ウォーターズの年間負傷率は、アメリカの労働統計局発表指数を下回っていますが、ウォーターズはそれぞれの施設に特化した企業イニシアティブに取り組むことにより、無事故に向けてさらなる努力を続けています。

過去三年間に実施された新しいイニシアティブや強化分野には、安全運転プログラム、事業リスク管理、および事故調査トレーニングが含まれています。

ウォーターズは約束します。

- ウォーターズはすべての業務において、公害防止、廃棄物削減、および自然資源の保護に積極的に取り組みます。
- サプライヤー、政府機関および地域と協力し、職場、地域、そして環境を改善します。
- ウォーターズは環境衛生や安全管理業務を定期的に査定し、従業員、お客様、株主、公的機関、および広く社会に向けて、ウォーターズの EH&S プログラムや活動に関する情報を適時に提供します。

### 安全運転プログラム

2006年、ウォーターズ・アメリカとウォーターズ・カナダは、フィールドサービス担当者を対象に作成された新しいプログラムを導入しました。2007年に施行されたこのプログラムには、新しい自動車安全運転ポリシーおよび手引の導入、全ドライバーの自動車運転記録の照会、ならびに一般的なトレーニングプログラムと目的別トレーニングプログラムが含まれます。

### エンタープライズリスク管理

緊急時の脱出、医療事故、火災や化学事故などの非常事態への対策は、ウォーターズのEH&Sプログラムの重要な一部です。2007年には、さらに新しいイニシアティブとして「事業リスクマネジメント」(Enterprise Risk Management = 以下ERM) が発表されました。ERMは「緊急対応プログラム」(Emergency Response Programs) を拡張してビジネス上のあらゆるリスクの特定と評価を含めたもので、リスクコントロールのための戦略を立案し、リスクに適宜に対応できるようにしています。プログラムの構成内容は、リスクコントロール、非常事態の特定と評価、有事対策、非常事態からの早期復旧のための手引き、および拠点復旧のための準備プランの立案などが含まれています。ウォーターズは、今後数年のうちに、このプランを完全に実行することを目指しています。

### 事故調査トレーニング

2007年、ウォーターズは世界中の全EH&Sコーディネーターに対して、社内トレーニングを実施しました。このトレーニングは、各拠点が職場での怪我や事故に適切に対処し、根本的な原因を特定し、そして必要な改善措置をとることができるようにするためのものです。

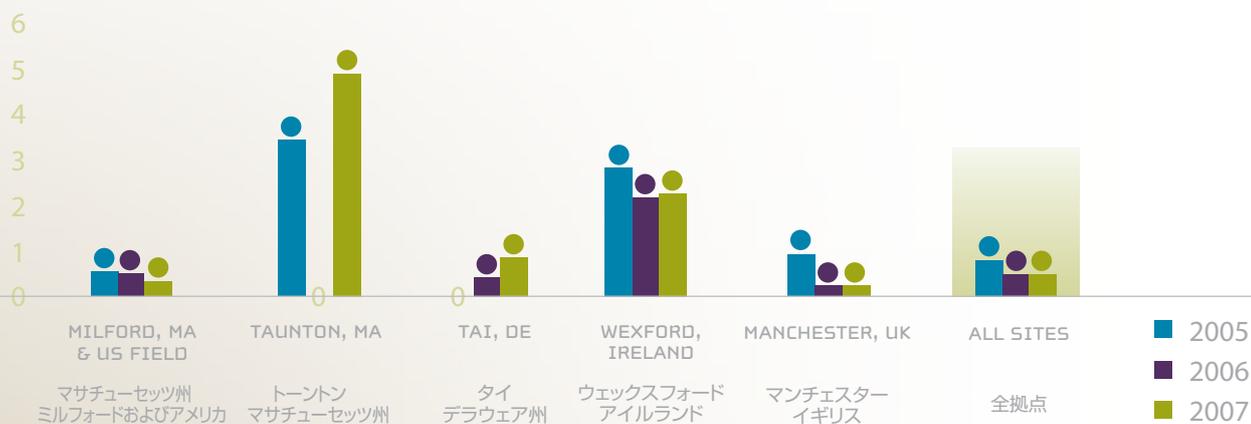
## ウォーターズにおける職場事故率の合計

20万作業時間(従業員数100名)あたりの、米国工場および世界主要拠点での件数



## ウォーターズにおける職場事故率と欠勤日

20万作業時間（従業員数100名）あたりの、米国工場および世界主要拠点での件数



## 環境管理プログラム

人々の環境に関する意識の高まり、世論やお客様からの期待、また世界中で法的整備が進んでいることを受け、ウォーターズはより積極的に環境問題に取り組んでいます。ウォーターズのビジネスプランには、製品、製造工程、施設による環境への影響を特定し、これらを精査し、軽減するための正式な計画が多数組み込まれています。ウォーターズ EH&S は現在、自社が環境に及ぼす影響をよりの確に評価できるよう、さらに詳しいデータの収集を進めています。

現在のウォーターズ管理システムによって適切な環境管理のフレームワークが構築されました。ウォーターズ EH&S 操作委員会は国際的に標準化された「環境マネジメントシステム」(Environment Management Systems =以下 EMS) を支持し、ISO 14001 の資格取得を目指して積極的に活動しています。EMS は、環境への重大な影響の特定と管理のためのプログラム開発および実施、さらに深刻な環境問題への認識と対応の記録を行うシステムです。既にミルフォードではウォーターズ EMS により、環境保護と公害対策が実施されています。



アメリカにおいて、1998年からウォーターズはEPAの廃棄物対策(WasteWise)プログラムに自主参加しており、リサイクルの結果や廃棄物削減量について年度報告を行っています。

## リサイクルと固形廃棄物削減

ウォーターズでは世界の各拠点で、リサイクルプログラムを実施しています。このプログラムに基づいて、紙、段ボール、プラスチック、ガラス、新聞雑誌、金属、廃棄機器を含む電化製品がリサイクル素材として活かされています。EU諸国では、電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会および「理事会指令」(Waste Electrical and Electronic Equipment 以下 WEEE)に従って活動しています。ウォーターズのウェブサイトには、これらに関するお客様向けのガイダンスも設けています。

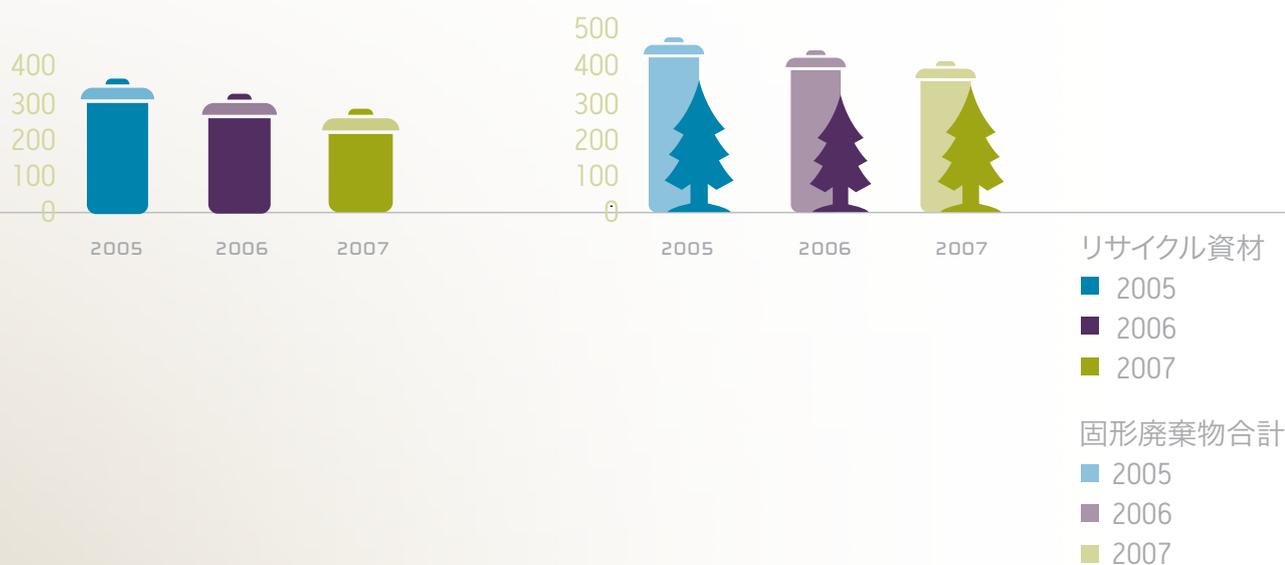
アメリカにおいて、1998年からウォーターズはEPAの廃棄物対策(WasteWise)プログラムに自主参加しており、リサイクルの結果や廃棄物削減量について年一回の報告を行っています。

年数を経るに伴い、アメリカの五大拠点をはじめ、より多くの施設がこのプログラムに参加するようになっていきます。

このような取り組みをサポートするのが、ベンダー側の包装資材使用量を減らしたりゼロにしたりするためのウォーターズの戦略です。なお、ウォーターズの委託製造業者は、特殊構造を持つロール型のラックと包装機器を利用し、包装資材の減少に努めています。

ミルフォードにおける固形廃棄物の生成率およびリサイクル率と固形廃棄物生成量の比較は、以下のとおりです。

売上100万ドルあたりのミルフォード拠点における 固形廃棄物生成量      ミルフォードでの大規模リサイクル



\* ウォーターズは、世界中のユーザーから固形廃棄物収集とリサイクルに関する情報収集を始めたばかりです。この情報は、将来的なイニシアティブを策定して評価するために使われます。

## エネルギー削減のためのシステムとプログラム

持続可能な、または環境に配慮した建築物は、自然環境、人の健康、および経済にも大きな影響を及ぼします。環境的な視点から、ウォーターズは何年もの間、サステナビリティのための戦略を自社の建築オペレーションに取り入れてきました。

アメリカの EPA は、建築物のエネルギー消費量を以下の通りに報告しています。

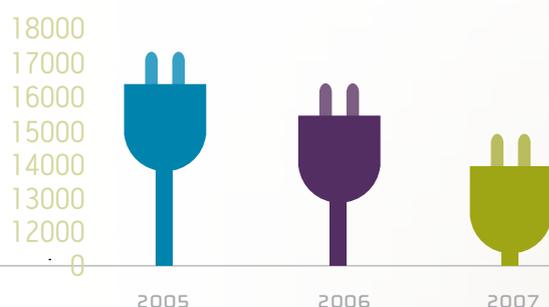
- 全エネルギー使用量の 39 パーセント
- 全水使用量の 12 パーセント
- 全電気使用量の 68 パーセント
- 二酸化炭素排出量の 38 パーセント

「ウォーターズ施設マネジメント」(Waters Facility Management) は、エネルギーと資源を効率よく利用できる建築物の設計、建築、改築、およびメンテナンスに力を入れています。アメリカおよびヨーロッパでいくつかの拠点が改築され、自動 HVAC\* やライティングシステムが導入されたことで、エネルギーコストが減少し、環境パフォーマンスが向上しました。



アメリカおよびヨーロッパでいくつかの拠点が改築され、自動 HVAC やライティングシステムが導入されたことで、エネルギーコストが減少し、環境パフォーマンスが向上しました。

売上 1000 ドルあたりの電気使用量 (KWH)( ミルフォード拠点での測定値 )



\* HVACとはHeating (暖房)、Hot Water(給湯)、Ventilating (換気)、Air Conditioning (空調)の略称で、室内環境の制御に関わる概念の総称です。



「ウォーターズで働くことに誇りを感じる一番の理由は、私たちが市場に提供している製品やサービスです。開発された技術は世界中の人々の日常生活に重要な意味を持つものであり、多くの人々の生活の質を向上させています。これらの技術は非常にハイレベルで、常に業界を牽引しており、とてもエキサイティングだと感じています」

#### Patrick

工業製品マネジメント統括者、  
ミルフォード  
マサチューセッツ州

## グリーンビルディング

「21世紀研究所」(Laboratories for the 21st Century) と「アメリカのグリーンビルディング協議会」(Green Building Council) は、新築または改装された研究所や建物の環境性能向上を目的とし、「エネルギーと環境デザインにおけるリーダーシップ」(Leadership in Energy and Environmental Design, 以下 LEED)、ならびに「既存ビルのための LEED」(LEED for Existing Buildings = 以下 LEED EB) は、自主的なパートナーシップを組みプログラムを推進しています。これらのプログラムについて学ぶことは、ウォーターズ施設マネジメントにとって業務の一環です。現時点でウォーターズは、LEED または LEED EB 認証を受けることを計画していませんが、これらのプログラムが推奨する活動を、今後の改築計画の中で実践する予定です。

## 空気

ウォーターズの施設の多くは大量の排気を出していますが、一方で燃料の消費装置による影響を抑制するプログラムも実施されています。燃料(第二低硫黄燃料油またはガス)を消費する装置のメンテナンスは、資格を有する技術者が現場で行っており、化石燃料の使用は極限まで抑えられています。タウントンの生産拠点は、当社で唯一認定を受けた拠点です。2005年に、再生式熱酸化機と大気汚染制御技術がタウントンに設置されました。空気の流れに含まれる有機物を燃やすプロセスから発生する余分な熱エネルギーを回収して再利用することで、エネルギー効率を高めました。

## 水

ウォーターズでは、さまざまな保護イニシアティブやシステムの改善を通じ、水資源の節約に取り組んでいます。タウントンの生産拠点では、閉鎖型循環冷却システムを設置し、水資源を節約しています。ミルフォードでは、製造工程や研究室および生活用に水が使用されています。水の再利用、そして使用量の削減への取り組みが常に行われ、例えば以下のようなプログラムがミルフォードで実施されています。

- 不動態化溶液を利用した対流浄化
- 流量減少により処理に必要な水量を削減するためのメーター
- 水性洗浄水をリサイクルするための超高密度ろ過システム
- 水を使わない男性用トイレの設置

お客様がいかなる目的でウォーターズの製品を使用して、土や水の試験、あるいは最新の薬剤についての安全分析などを行ってしようと、人々が健やかに安心して暮らせるような環境作りに私たちは大きな役割を果たしています。ウォーターズは、環境保護と安全で衛生的な職場作りを、等しく重要だと考えています。

ウォーターズの製品に安全で信頼できる部品が使われ、サプライヤーが環境保護および社会的責任を果たす行動基準を満たしていることを確実にするため、ウォーターズは可能な限り質の高いサプライチェーンマネジメントの構築に取り組んでいます。ウォーターズの製造工程や手順は ISO 標準に基づいて詳細に文書化され、年に二回見直し、更新が行われています。このプロセスは、イギリスのロイド・レジストリ社 (Lloyd's Registry) による定期監査の対象です。

### 責任ある行動

候補となるサプライヤーには、品質管理の資格、「有害物質制限規則」(Restriction of Hazardous Substance = 以下 ROHS) の遵守、テロ行為防止のための「関税産業界提携」(Customs-Trade Partnership Against Terrorism = C-TPAT) 認証などを照合・評価するための調査表に記入することが義務づけられています。記入されたデータを自動リスク評価ツールで分析、一定のスコアを得た業者は、正式な監査に進むことができます。候補となるすべてのサプライヤーに対して品質管理と監視能力を持つことを確認するために、必要な技術的ノウハウを併せ持ったウォーターズのエンジニアによる監査が実施されます。この監査に合格したサプライヤーだけが、ウォーターズの取引先対象になります。サプライヤーに対しては厳格な「矯正予防措置」(Corrective and Preventative Action = CAPA) システムに基づき、ウォーターズの品質管理機関による監視が行われます。そして、すべてのサプライヤーを対象に、潜在的リスクを正しく評価するために定期的に監査が行われます。

以上の基準を満たしたサプライヤーは、資格のある「仕入先名簿」(Qualified Supplier List = 以下 QSL) に登録されます。それぞれのサプライヤーには毎月スコアカードが送られ、配送、品質、およびサービスに基づいて算定されたスコアが通知されます。それぞれのサプライヤーは QSL から外されないためには、高い水準を維持しなければなりません。

ウォーターズは、委託業者との製造契約を活用しています。ウォーターズに製造サービスを提供しているのは、「エレクトロニクス産業市民権連合」(Electronic Industry Citizenship Coalition = 以下 EICC) のメンバー企業 (プロバイダー) です。ウォーターズが部品などの製造業者 (サプライヤー) に直接関わらないケースでは、ウォーターズが契約しているプロバイダーが「電機機器業界におけるサプライチェーンの職場が安全で、従業員を尊重し、製造プロセスが環境に優しいことを確実にする」ための「EICC 行動規範」(EICC Code of Conduct) に準拠して業務に臨んでいます。

## 地域における ウォーターズの使命

ウォーターズの技術革新は、環境改善や医療の質の向上に貢献しています。私たちが暮らし、営業活動を行う地域での生活の質をさらに向上させるため、地球規模で慈善活動をサポートすることが不可欠だと考えています。特に、教育と医療に力を入れる団体の支援に取り組んでおり、また芸術、医療と関連サービス、レクリエーション、教育、環境に関する活動を行っている地元団体も積極的に支援しています。

### 教育と医療

ウォーターズはさまざまな教育プログラムを支援しており、特に科学教育に注力しています。これまでウォーターズは、科学者や医療従事者のキャリアサポートから、地域の科学博物館ならびに教育システムの運営への支援を行うなど、さまざまな活動を実践してきました。また、成績優秀者に対する奨学金の授与、科学の発展を推進するための表彰プログラムへも参加しています。さらに、世界の優れた医療研究機関を支援するために、資金を集める活動にも尽力しています。

地域における教育プログラム支援に加えて、ウォーターズは従業員の子供達のために「ウォーターズ奨学金制度」(Waters Scholarship Program)を開始しました。この制度を利用して、高い学力と可能性を持つ子供たちは、大学進学のための奨学金が与えられます。受給者の選考は学業の成績に基づいて行われます。ウォーターズは1998年以来、22人の学生に奨学金を授与しています。

技術開発を支援し、科学についての理解を深め、そして医療の質を高めることは、ウォーターズにとって重要な価値であるとともに、地域活動への取り組みの原動力となっています。

### 地域

私たちが暮らしを営み、営業活動を行う地域が抱える需要と問題解決に、ウォーターズの協力が期待されています。

ウォーターズが誇る慈善パートナーの一つが「アメリカ赤十字」(American Red Cross)です。地球規模の災害は絶えず発生し、その度、多くの被害者が迅速な支援を必要としています。2008年に起きた中国四川省での大地震、2004年に東南アジアを襲った津波、そして2005年に米国のメキシコ沿岸を恐怖に陥れたハリケーンといった災害がその例です。



技術開発を支援し、科学についての理解を深め、そして医療の質を高めることは、ウォーターズの企業価値軸であるとともに、地域活動への取り組みの原動力となっています。

ウォーターズは、アメリカ赤十字が救援活動に必要な資源を確保できるようサポートし、その活動に協力しています。2006年、ウォーターズは、アメリカ赤十字に対する企業としての貢献と従業員の努力に対し、同機関から「人道主義者賞」(Circle of Humanitarians Award)を授与されました。アメリカ赤十字とのパートナーシップは、世界のどこで惨事が起きても、そこで必要となる役割を果たそうという、ウォーターズの長期的姿勢の表れです。

ウォーターズは、企業としての貢献だけではなく、従業員が自ら選んだ慈善団体に継続的に活動していることも支援しています。個人の慈善活動への参加を助長するために、「寄付金拠出プログラム」(Matching Gift Program)を実施し、ウォーターズが承認したNPO団体への従業員の寄付金額と同等の助成金を会社からも拠出されます。

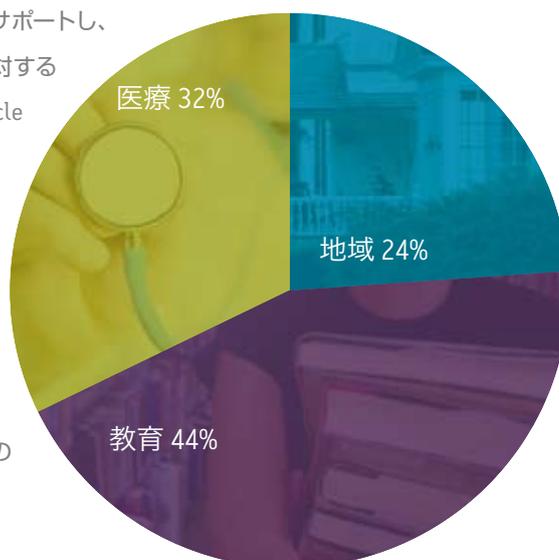
### ウォーターズの従業員

ウォーターズの成功を中心で支えているのは、革新的な製品を開発し、ソリューションを提供し、そして株主が納得できるような高業績を作り出すために絶えず努力している従業員です。ウォーターズは、彼らによる技術革新、協業、責任、および実績を奨励・表彰するプログラムと資源を従業員に提供することを重視しています。また、従業員のために、自社の価値と倫理基準に一致する環境を整えることもウォーターズの責務です。

35ヶ国のウォーターズで働く約5,000人の従業員の平均勤続年数は九年です。会社、お客様、そして株主の皆様への、従業員の献身的な貢献は大変感謝すべくことです。

ウォーターズは、従業員の貢献こそがビジネス成功の原動力であり、企業としての成功がすべての従業員の利益になると考えています。ウォーターズで働くことについて広い視野を持ち、個人がどのように貢献し、それによって何をを得るかについて、あらゆる側面から考えることがウォーターズの方針です。

ウォーターズの報酬システムの基本フレームワークは健全な生活、安心できる未来、充実したキャリアライフ、そして企業に根づく相互支援文化、という四つの分野にわけることができます。ウォーターズが益々優良企業として成長するためには、従業員に対する取り組みをより積極的に行うことが必要であり、それによって従業員の能力と価値がさらに向上するのです。



ウォーターズの貢献活動

- ウォーターズは1998年以来、22人の学生に奨学金を授与しています。
- 2006年、ウォーターズは、アメリカ赤十字に対する企業としての貢献と従業員の努力に対し、同機関から人道主義者賞 (Circle of Humanitarians Award) を授与されました。
- ウォーターズは科学博物館ならびに教育システムの運営を支援しています。



#### 優良企業としての評価

2008年、ウォーターズは、マサチューセッツ州の優良企業としてボストン・グローバル紙に選ばれました。

企業のリーダーシップ、給与、トレーニングプログラム、ダイバシティ（多様性）、社会性、キャリア開発、家族への配慮、および企業価値と倫理に対する従業員の評価に基づき、優良企業が選出されます。この「最も働きやすい企業 - Top Places to Work」賞は、米国内の最も革新的な企業に与えられるものです。

健全な生活と文化を支援するために、ウォーターズは地域ごとに医療保障などの様々なプログラムとサービスを提供しています。この企業哲学は、従業員たちが健康で長生きできるようにとの願いから、彼らのライフスタイルに合った選択肢を提供する考えまで発展しました。

従業員が安心できる未来設計を支援するウォーターズの取り組みは、実績ベースの給与体系や貢献度に応じた報酬が支払われる多様な報奨金プログラムによって実現されています。ウォーターズの報奨金プログラムは可能な限り、市場水準を満たし、そして他社に負けない報奨金レベルを設定しています。さらに、条件を満たした従業員に対して定年退職プランが実施されています。

従業員一人一人が充実したキャリアライフを形成できるようサポートすることは、ウォーターズと従業員の間で win-win の関係を築きます。ウォーターズはこれを、業務遂行能力管理プログラムを通じて、また従業員の能力開発をサポートすることによって、実現しています。ウォーターズは従業員に、自己革新の機会と、総合的な学習・教育アシスタントプログラムを提供し、さらに貢献度の高いパフォーマンスを表彰しています。

また、ウォーターズは相互サポートの精神に則った文化の形成にも取り組んでいます。ウォーターズは従業員に、自身のスキルおよび企業全体の価値の向上を意識し、実践するよう期待しています。この文化の一端を担うものに、ウォーターズの業務上の行為および倫理に関する規定に準拠した職場環境——たとえば、差別やセクシャルハラスメントのない職場環境作りがあります。

ウォーターズのサステナビリティに関する取り組みの中心は、従業員です。彼らの存在なしに、ビジネスの成功はあり得ません。私達が企業として成功するためには、ウォーターズがより良い雇用主となる努力を継続していかなければならないと考えています。





適用規格：JISQ9001:2000/ISO9001:2000

登録番号：JMAQA-331 登録日：1999年05月31日

審査登録範囲：理科学機器の輸入・販売から保守業務までの  
トータルサポート及び保守プランの設計・開発

# Waters

THE SCIENCE OF WHAT'S POSSIBLE.™

**日本ウォーターズ株式会社** [www.waters.co.jp](http://www.waters.co.jp)

東京本社 〒140-0001 東京都品川区北品川1-3-12第5小池ビル TEL 03-3471-7

大阪支社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10カトキチ新大阪ビル11F TEL

ショールーム 東京 大阪

テクニカルセンター 東京 大阪 名古屋 福岡 静岡

Waters、UltraPerformance Liquid Chromatography、ACQUITY UPLC、HDMS、High Definition Mass Spectrometry、SYNAPT、  
および The Science of What's Possible は、Waters Corporation の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。  
©2009 Waters Corporation. Printed in the U.S.A. April 2009 720003050EN TK-LB-CP